



ムコ多糖症を 知っていただくために

【監修】

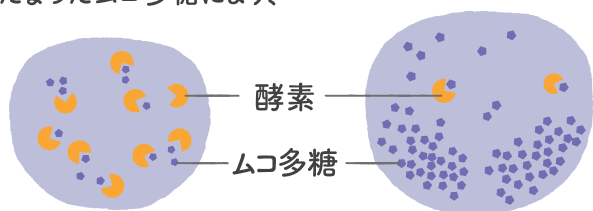
埼玉医科大学 ゲノム医療科
希少疾患ゲノム医療推進講座
特任教授

奥山 虎之 先生

ムコ多糖症とは

ムコ多糖症は、生まれつき体の中でムコ多糖という成分を分解する酵素が働かなかったり、働きが弱いためにムコ多糖が体にたまる疾患です。たまったムコ多糖により、体の細胞が十分に機能を発揮できないことがあり、全身にさまざまな症状があらわれます。

足りない酵素とたまるムコ多糖の種類の違いによって7つの型に分けられており、それぞれ症状や、症状があらわれる時期、病気の経過が異なります。



【酵素が働いている細胞】

【酵素の働きが弱い細胞】

ムコ多糖症の型
(該当する型にチェック)

I 型

II 型

III 型

IV 型

VI 型

VII 型

IX 型

ムコ多糖症の治療

酵素補充
療法※

→ 不足している酵素を補います。

ムコ多糖を分解する酵素を、**定期的** に点滴することで症状の進行を抑えることができます。

1回の治療には半日～1日 かかる場合があります。

※ムコ多糖症I型、II型、IV型、VI型の場合

造血
幹細胞
移植

→ ドナーから酵素を作る正常な細胞を移植する治療です。

定期的な治療を回避できる利点がありますが、重い副作用が起こる場合があるため、全ての患者さんが治療を受けられるわけではありません。

対症
療法

→ 症状を緩和させるための治療です。

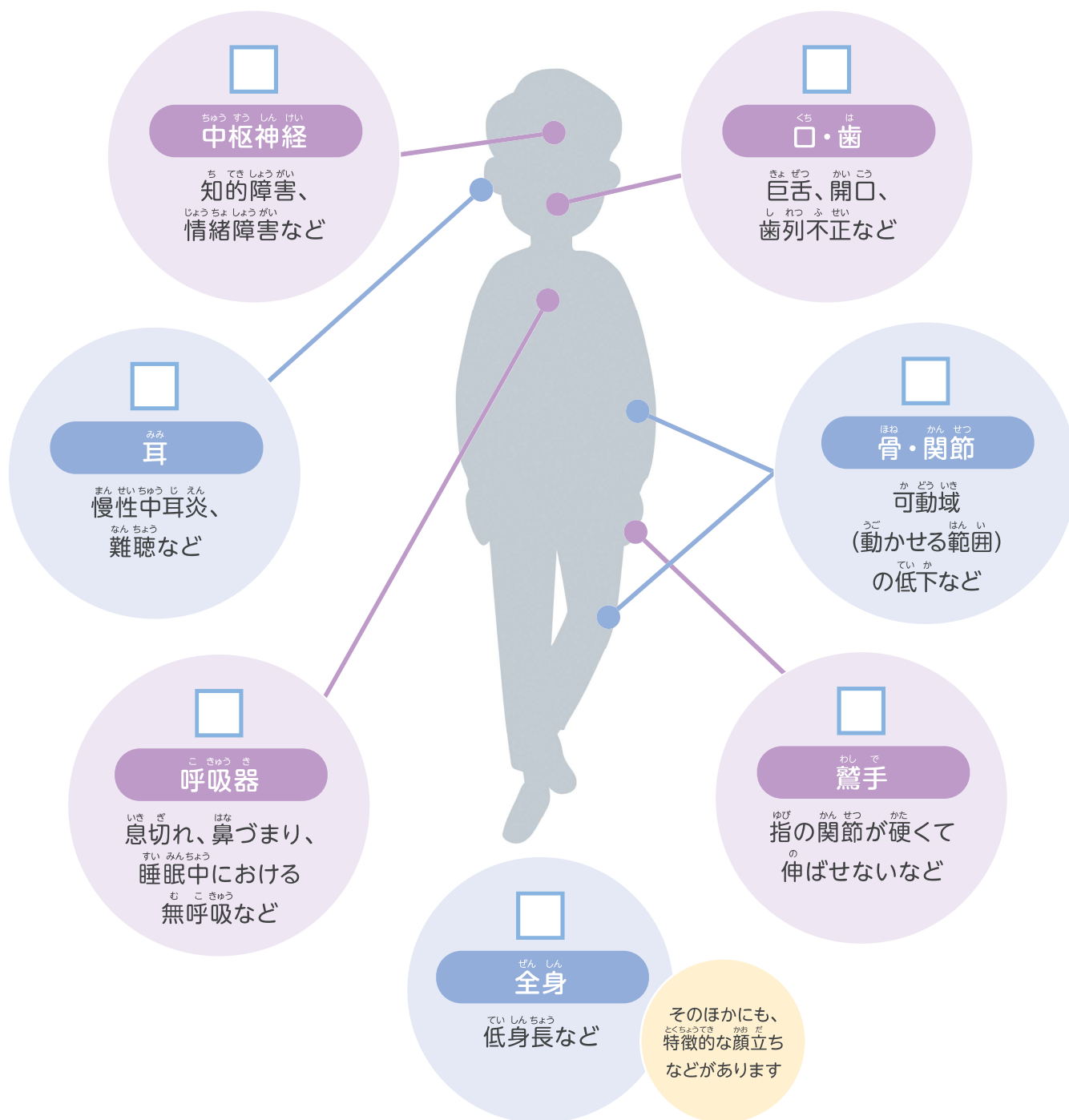
さまざまな症状に応じて、薬を飲んだり、特別な検査や治療をする場合があります。



ムコ多糖症の 主な症状

ムコ多糖症の症状や程度は、一人ひとり異なります。
特にあらわれやすい症状は☑の症状です。

(※ご自身または保護者があらわれやすい症状をチェックしてください)



そのほかの症状は下記へご記入ください。



()曜日		()曜日		こんな薬を持っています	使用するタイミング
午前	午後	終日	午前	午後	終日

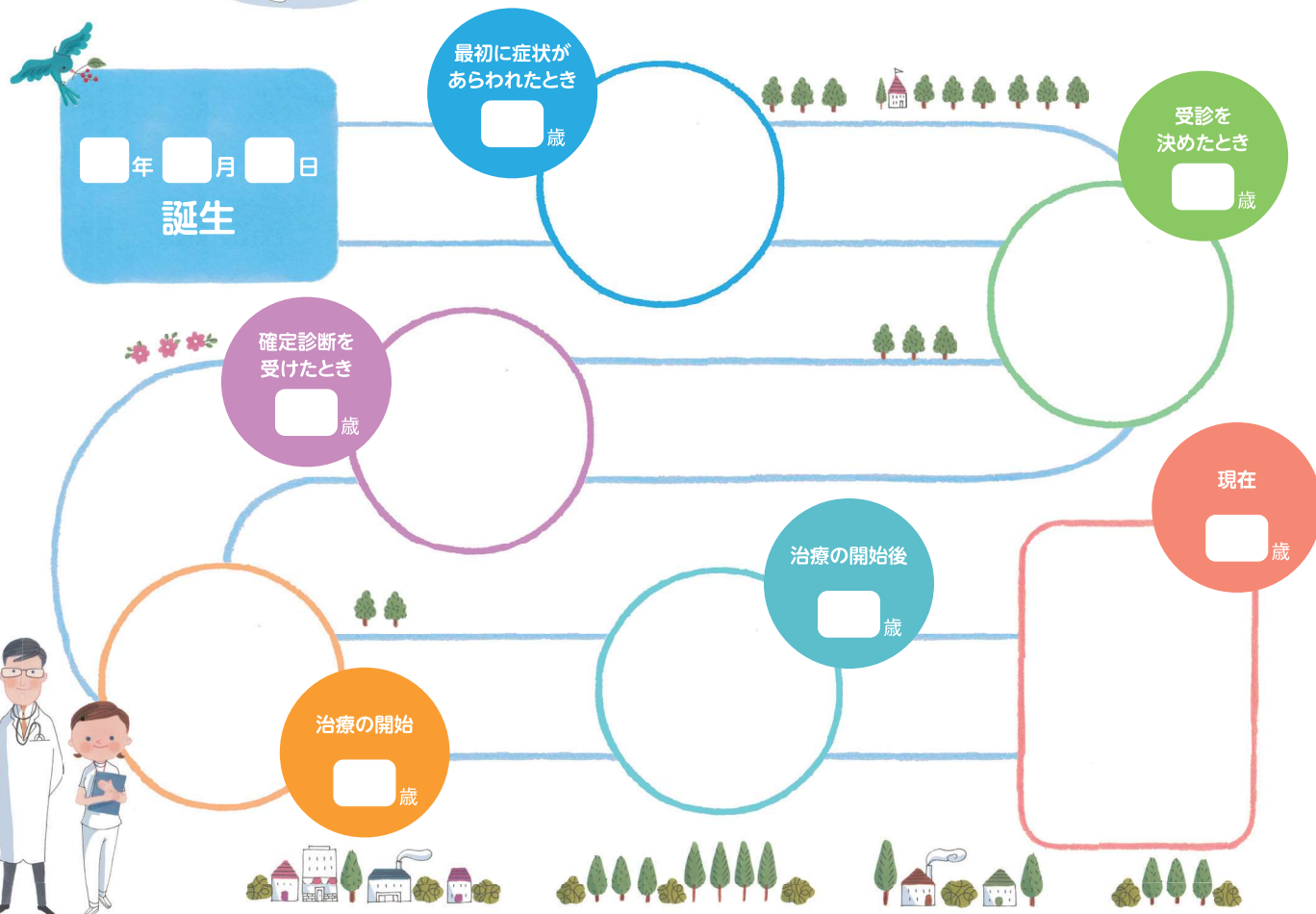
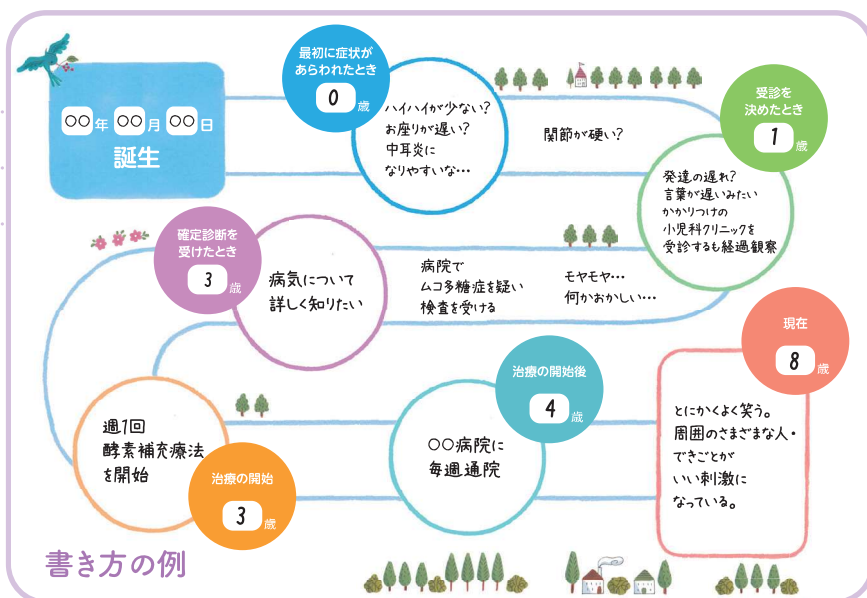
こんな時	➤ こうしてください

かかりつけ医・主治医など

1	1
2	2
3	3
4	4
5	5

わたしのあゆみ

発症から、受診、診断、治療そして
現在までのあゆみです。



てとての窓口 ムコ多糖症に関する疑問について、電話やメールでお答えします。



フリーダイヤル



0120-558-279

【受付時間】9:00~17:00 月~金(土日祝日・休業日を除く)



tetote@sanofi.com

メールでのお問い合わせは、返信にお時間を頂く場合もございます。

●免責事項:「てとての窓口」では、病気に関連する情報を可能な限りご提供いたしますが、ご期待に添えない場合もございます。また、「てとての窓口」は医療機関ではございません。法律で定められておりますので、診療や治療、薬剤の提供はいたしかねます。あしからずご了承願います。●個人情報の取り扱い:「てとて」で取り扱う個人情報は、弊社の規定に従い厳重に管理いたします。また、「てとて」のサービス内のみで使用し、同意を得ることなく目的外の使用や第三者に提供することはございません。

ムコ多糖症の症状や治療に関する情報は、

LYSO LIFE
ムコ多糖症といっしょに。

ムコ多糖症

<https://www.lysolife.jp/mps>



サノフィ株式会社